令和８年第８回日光市教育委員会会議録

ホームページ公開用

１　日　　時　　令和８年８月１８日（火）　午後２時００分開会

２　場　　所　　日光市役所東庁舎３階第４会議室

３　出席者　　教育長　　関　　孝　和
　　出席委員　　委　員　　手　塚　美智雄
　　委　員　　池　田　由美子
　　委　員　　速　水　茂　希
　　委　員　　岸　野　紗生里
　　委　員　　安　江　麻衣子

４　説明員

教育次長	瀬　山　光　司
学校教育課長	齋　藤　朋　子
生涯学習課長	新　家　　守
文化財課長	小　島　秀　之
スポーツ振興課長	手　塚　智　芳
中央公民館長	佐　藤　　剛
学校教育課課長補佐兼教育総務係長	田　中　晃　司
学校教育課課長補佐兼教育指導係長	福　田　恭　介
学校教育課主幹	高　野　貴亜紀

５　書　記　　学校教育課主任　　長　岡　紗理奈

６　議　題

（１）報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア　令和９年度奨学生の募集について

イ　令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

（２）教育委員からの提案事項

（３）その他

①前回会議での教育委員からの質問事項への回答について

②その他

③次会開催予定

日時：令和８年９月２４日(木)午後２時００分

場所：日光市役所東庁舎３階第４会議室

日時：令和８年１０月１６日(金)午後２時００分

場所：日光市役所東庁舎３階第４会議室

７　会議の概要

午後２時００分、開会を宣言した。

会議録の署名人に、手塚・安江両委員を指名した。

日程第一　前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二　報告事項

（１）教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】
各学校の様子について
・学校を休みがちな児童生徒調査結果報告について（令和８年６月・７月分）
・いじめ調査結果報告について（令和８年６月・７月分）
教育委員会所管・関連する会議、大会、イベント等の情報について

【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

（２）事務局からの報告

【学校教育課長】

【報告要旨】

令和９年度奨学生の募集について、栃木県育英会の算定方法見直しに伴い、日光市奨学生認定基準の所得要件算定方法と提出書類を一部変更し、募集要項を市の広報誌や市内中学校及び近隣高等学校、各行政センター等に配布し、周知を行うことを報告した。

【学校教育課主幹】

【報告要旨】

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について、同一集団における経年比較や観点・領域・問題形式別の調査結果等から分析した傾向と今後の具体策を報告した。

【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

【委員】

全国学力・学習状況調査の結果について、日光市はラストスパート型ということだが、１問差がいつも埋まらないのであれば、もう少しスタートを早くする方法を考えるのも一つだと思う。

【学校教育課主幹】

もちろんスタートは、早ければ早いほどよいと思うのでラストスパート型のよい部分は残しつつ、事務局としても、校長会や研修等を通じて状況を伝え、スタート段階から、知識・技能に特化して授業作りをしていただくよう、呼びかけていきたいと思う。

【教育長】

加えて、授業作り推進リーダーで行っている内容はどうか。

【学校教育課主幹】

現在日光市では、授業作りを学校で組織マネジメントする授業作り推進リーダーを各校一人設定し、そのリーダーを通じて授業作りが推進できるようにしているところである。年３回、研修会を実施し、申し上げた内容を校長会等で管理職の先生にお伝えするほか、若手の実務を担うリーダーにも伝えて、各校の現状やどうしたらよいのか情報共有している。日光市で足並みを揃え、情報の取りこぼしがないようにしながら、リーダーを中心に授業作りをする体制を整えている。

【委員】

授業作りについて、一時期、アクティブ・ラーニングや子供達の話し合い活動による授業作りを何年か行っていたと思うが、その際に基礎学力が心配という話をしたことがある。今の段階では、基礎・基本の定着に向けた授業作りをリーダーの方々で研究する形に変わってきているということか。

【学校教育課主幹】

知識・技能を中心にした授業作りを必ずというわけではないが、そのエッセンスが抜けてしまうと、いくらアクティブ・ラーニングを実践しても土台が弱く、上手く育たないので、知識・技能は忘れないようにと研修会でもお伝えしているところである。

【委員】

全国学力・学習状況調査について、日光市総合計画では県や全国と比較した達成度の設定はされているのか。今年は同程度かやや低いとのことだったが、日光市としてはどの程度を求めているのか教えていただきたい。

【学校教育課課長補佐】

総合計画には載せていないが、第４次学校教育基本計画には目標値を載せており、小中学校ともに県平均以上としている。県や全国より上を目指さないと同程度にならないと思うので、もっと上を目指して取り組んできたところである。授業の質はかなり上がってきているが、地域性もあり、学校の授業でできることを行うことがこれまで取り組んできたことであり、今後も取り組んでいくことである。

【委員】

目標はいつまでに達成としているのか。

【学校教育課課長補佐】

令和１２年度までとなっている。

【委員】

まだ時期的には早いが、日光市でチーム担任制がスタートしたことで、今後いじめや

不登校の減少、学力が向上していく可能性もあると思う。長い目で見て、結果をこの場所でも報告いただけるとありがたい。
【学校教育課課長補佐】
　承知した。保護者や児童、教員に対する第１回アンケート調査が終わり、集計が出てくるところである。１１月にも調査を行うので、機会を捉えて公表していきたいと考えている。
【教育長】
　チーム担任制について、昨年は先行実施校として３校実施し、議会でも一度答弁をさせていただき、今年度の４月から完全実施となった。教育の施策は、一般的に１０年単位と言われており、今の段階で結果は申し上げられないが、廣瀬先生が全小学校を回り、全職員と面談を行ったことで、色々なことが見えてきたところである。その中で、一つ分かってきたことは、チーム担任制は若い先生方には特に有効であり、逆に、ベテランの先生方は、今まで培ってきた担任一人でクラスを経営するといった流れがあるので、その壁がやはりまだあるということである。追って御報告をさせていただく。
　説明終了後、追加の質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第三　教育委員からの提案事項
【教育長】
　教育委員からの提案事項について、意見を求めた。
【委員】
　昨日、下野新聞に盗撮防止に関する記事が掲載され、市でも点検等を実施することになっていたと思うが、その後進捗はあるか。
【学校教育課課長補佐】
　来週、小学校１校、中学校１校に教育指導係が抜き打ちで検査に立ち入らせていただく。
【教育長】
　抜き打ち検査については、委員からの御意見もあって実現できることになり、ありがたい。一番有効であると我々も感じている。
【委員】
　もう１点、総合教育会議の議題について、今回、部活動の地域展開での送迎等について提案したいと考えている。研究協議会で紹介された先進地である高山市と越前市について、詳しく調べていただくことは可能か。
【学校教育課長】
　前回会議で報告いただいた自治体の先進事例をもとに、調べておく。
【委員】
　熊本のイオンモールで爆発事故があったが、民間の建物の中に入っている中央公民館やＷｏｏｄｙ　Ｂａｓｅに勤める職員は、施設が実施している避難訓練に参加されているのか。また、利用される方には、非常口等の説明はしているのか。中央公民館はイオンの一番奥にあるので、もし裏口から出られるのであれば問題ないと思うが、避難の際に真っ暗になった場合、パニックになると思う。
【中央公民館長】

避難訓練については、テナント全員で実施する避難訓練をイオン日光今市店が主催で行っており、我々も１テナントとして参加している。避難経路の関係だが、中央公民館から直接避難できる非常口、ゲームセンターと調理室の間の通路から出られる非常口の２か所あり、暗くなってもかなり目立つ。その避難経路での誘導ができるような体制を整えている。

【教育長】

説明終了後、追加の意見を求めたが意見はなかった。

日程第四　その他

（１）前回会議での教育委員からの質問事項への回答について

【教育長】

学校教育課長からの説明を求めた。

【学校教育課長】

前回会議で委員から御質問いただいた、学校避難器具を使用しての避難訓練の実施状況について、確認内容を御報告させていただく。まず、市内で袋状の滑り台型の避難器具が設置されている学校は、日光中学校と藤原中学校のみとなっている。藤原中学校では、毎年避難器具の点検を行っているが、年３回実施している避難訓練では避難器具を利用していない状況である。また、日光中学校については、今回の確認で、避難器具の点検を実施していなかったことが分かり、今年度中に点検を行うこととした。避難器具が設置されている学校では、有事の際に避難器具を使用できない事態が生じないように避難訓練等で使用する機会を設けることは必要だと考えているが、日光中学校については、現在の校舎が築４０年以上経っており、避難器具を使用すること自体のリスクも若干懸念されるところである。校舎や児童生徒数の状況も各学校様々なので、避難器具の有無に関わらず、火災や地震、そのほかの防犯上の避難も含めて、様々なパターンの事態を想定し、状況に応じた避難訓練を各学校で工夫して実施していただくように今後も周知してまいりたい。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

（２）その他

【学校教育課長】

１１月に開催予定である総合教育会議の協議事項について、ＬｏＧｏフォームで各委員からの提案事項を集約させていただく。提出していただいたものをもとに、来月の教育委員会会議で総合教育会議にどのように上げるか議論をさせていただきたい。締切りは９月７日までとなり、期間が短いが、御検討の上、御提案いただきたい。

【学校教育課長】

市役所の窓口時間の短縮について、お知らせする。窓口開設時間について、働き方改革の一環として、今年の１０月１日から試行的に９時から１６時３０分までに短縮となる。教育委員会事務局についても同様の取扱いとなる。電話対応については、これまでと同様８時３０分から１７時１５分までで、変わりない。ただし、奨学金や学校関係の諸手続きで、学生や保護者等、日中の来庁が難しい方もいると思うので、窓

口開設時間以外になる場合は、来庁時間を事前に予約していただく等、サービスの低下にならないよう工夫しながら対応してまいりたい。
【生涯学習課長】
高校生ラピット市派遣事業の実施報告をさせていただく。７月２７日から８月７日までアメリカ合衆国サウスダコタ州ラピット市でホームステイを行い、高校生７名が無事帰国した。出発においては、飛行機の都合で到着する時間が遅くなるハプニングはあったものの、空港でホストファミリーと出会い、それぞれの家庭でゆっくり静養した後、ウェルカムディナーを満喫、次の日からマウント・ラッシュモア等の観光地や警察、消防署、「Ｎｉｋｋｏ　Ｓｔｒｅｅｔ」等の見学をした。また、議場も訪れ、その様子はＹｏｕ　Ｔｕｂｅでも放送されたが、市長と贈り物の交換を行い、緊張しながらも和やかな雰囲気であった。言葉の壁を乗り越えながら、ラピッド市を満喫し、無事帰ってくることができた。各自がアメリカの地で感じたものは違うものの、満面の笑みでバスを降りてきた様子はそれぞれが成長した証であった。派遣期間の様子については、国際交流協会のホームページにおいて随時掲載していたが、８月２８日の午後７時より、市役所本庁舎２階中会議室２０３において報告会を行う予定である。高校生７名がどんな経験をし、感動を味わったか等、詳細な様子を皆様に報告する。７年ぶりに交流が再開し、高校生たちの素直な感想を聞ける数少ない機会となるので、よろしくお願いしたい。
続いて、令和８年度広島平和記念式典派遣事業について御報告させていただく。当該事業では、８月５日から８月７日まで広島平和記念式典参列を含む現地研修を行い、参加者１１名が無事帰ってきた。６日午前８時からの平和記念式典参列を中心に、第２回全国こども平和サミットの傍聴、献花、参加者の家族や関係者の思いがこもった折り鶴の奉納、広島の班別行動等、様々な体験をした３日間であった。第２回全国こども平和サミットでは、代表の一人がサミット平和の誓いを堂々と行った。また、献花の様子は、７日の下野新聞にカラーで掲載されたところである。この事業に参加したことにより、原爆投下に対しての実感が湧き、過去にあったことを考える機会となったようである。生徒の一人は下野新聞社の取材に対し、爆心地の近くにある本川小学校平和資料記念館で被爆した建物を見て、登校した小学生が犠牲になったことを想像すると悲しい気持ちになったことや、戦争を繰り返してはいけない、学校での喧嘩やいじめ等小さな争いをなくすことが平和への一歩に繋がる等、自身の思いを伝えていた。なお、取材内容については、８月１９日に下野新聞に掲載される予定である。また、現地研修の成果報告会を８月２９日午後２時から市役所本庁舎１階の市民ホールにて行う。ぜひ御参加いただき、生徒たちの成長を感じていただければと思う。
【文化財課長】
杉並木見学会の説明をさせていただく。文化財課では、９月１２日に杉並木見学会を行う。対象は小学校４年生から６年生になっている。まず歴史民俗資料館を見学して杉並木の説明を行った後、杉並木ボランティアガイドの会の皆様に御案内をいただきながら実際に並木街道を散策する。普段非公開になっている杉の根っこを観察できるポカラ観察孔等を含めて見学する予定となっている。
また、現在、歴史民俗資料館で開催中のテーマ展「日光と会津－むすぶ道・ゆく人々－」のパンフレットができたのでぜひ御覧いただきたい。１２月２０日まで開催とな

っている。
【中央公民館長】
令和８年度の日光茶会についてお知らせする。今年度は１０月４日の午前１０時から午後３時まで、場所が日光山輪王寺の本坊と紫雲閣において三席を設ける予定である。この後、実行委員会からの委員の皆様への招待状を配付させていただくので、当日お越しいただければ幸いである。
【教育長】
報告終了後、質疑を求めた。
【委員】
先日、日光の漆塗りの文化財の見学会に参加させていただいた。小学生の参加が多く、ほとんどが保護者同伴だったので、子どもが文化財に触らないように注意する場面も見られたが、保護者の目が届いていない場面では、漆が塗りたてだったこともあり、触ってしまいそうな様子も見受けられた。可能であれば、文化財等を見学する際には、保護者同伴とする等、一定の制約を設けていただいたほうがよいと思う。杉並木見学会のように､多少触れても問題ない場合もあると思うが､御検討いただきたい。
【文化財課長】
大体は送迎もあり、保護者が付き添っているが、中には事情がある方もいるため、その場合には、こちらで貴重な箇所や危ない箇所へ目を配る対応をしていきたいと思う。杉並木見学会は、１ｍから２ｍほどの深さまで入ることもあるので、我々も注意していきたい。
【教育長】
説明終了後、追加の質疑を求めたが質疑はなかった。

（３）次会開催予定
【教育長】
次会の会議は、令和８年９月２４日、午後２時００分から日光市役所東庁舎３階第４会議室、１０月の会議は令和８年１０月１６日、午後２時００分から日光市役所東庁舎３階第４会議室で行うことを確認した。

午後３時１０分閉会